

共同礼拝

2024年10月27日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 姜 徑米

奏楽 佐藤裕子 香西愛(夕)

前 奏

招 詞 ハバクク書 2章20節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 22編23～32節(旧853)

ペトロの手紙一 1章20～25節(新429)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 214

説 教 「愛のわざ伝道」 牧師 高橋和人

祈 禱

讃 美 歌 225

献 金

頌 栄 541

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

10月の祈り

主の御心によってキリストの体としての教会がここに立てられ、御言葉に立ち、宣教の使命に生き、主の導きによって今に至るまで守られて来たことに感謝し、世の終わりまで、時が良くても悪くても、御言葉を宣べ伝え、希望をもって歩に歩むことができるように。

礼拝諸集会と各部会、部門会、教会学校、幼稚園の働きが力づけられるように。

平和を求める祈りが力づけられるように。

今日の祈り

礼拝が聖霊に導かれ、御言葉の恵み受け、希望の基とされるように。

修養会が力づけられ、教会の伝道が豊かにされ、救われるものが与えられるように。

幼稚園の園児募集が支えられるように。

紛争の地に平和がもたらされるよう祈りが力づけられるように。

「愛のわざ伝道」 高橋和人

ペトロの手紙一 1章20～25節

今日は全体修養会の発題の意味を込めて、伝道者の原点であるペトロの手紙に聞く。この手紙は「あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛し、今見なくても信じており、言葉では言い尽くせないすばらしい喜びに満ちあふれています。」(1:8)で良く知られている。それはペトロの信仰を良く表す。

ペトロは情熱的な人物。しかし、主イエスを愛することについては失敗を重ねる。しかし、主はそのペトロに伝道を命じられる。

伝道はキリストを愛する愛が伝わることだ。その愛は自分のものではなく、主によるものだ。

ペトロは冷静で、落ち着いて語り掛けている。彼は伝えるべき内容を厳選している。教会が試練の中にあるとき、むしろ本物であることが証明されると教える。

今日の個所でペトロはキリストは天地創造から知られ、今の終わりの時に「あなたがたのために」現れてくださったという(20)。キリストを復活させた神を信じるのがわれらのキリスト信仰で、この信仰と希望が神にかかっていると伝える。ペトロは直接主に会っている。それでいて、冷静に復活信仰を伝えている。そこには信仰の筋道がある。それが、新約聖書と信仰告白を生み出した。

信仰の真理は偽りのない兄弟愛を抱かせ、清い心で深く愛し合いなさいという。神の愛は真理で偽りが無い。「神の変わることはない生きた言葉」は新生(3)をもたらす。ペトロは新生を告げる。自分もまた新たに生まれたことを知っているからだ。

古い自分に死に新しい命に生きる(ローマ6:4)、その違いは愛が本物かどうかだ。神が求められる命は愛に生き、滅びない。しかし人は偽りにまみれかりそめに生きる。草は枯れ、花は散る。変わることはないのは主の言葉。愛はそこにある。伝道はこの愛を伝える。

主イエスはペトロが立ち直るように祈った(ルカ22:32)。人を新たに生かすような愛が伝わるにはくりかえしの失敗がある。それでも、立ち直るのはキリストが愛されることをその度に理解し、信じ、触れるから。未熟なものほど主がとりなしてくださることに触れる。これは福音として伝わる。そのために主イエス・キリストは来てくださった。

赦され、愛されて生きている。これ以上に伝わるものはない。そこに伝道がある。